



## 総務常任委員会議案審査報告書

1. 第 70 号議案 公益的法人等への町田市職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 71 号議案 町田市個人情報保護条例及び町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 74 号議案 町田市民ホール空気調和設備改修工事請負契約
1. 第 87 号議案 町田市七国山ファーマーズセンターの指定管理者の指定について
1. 第 64 号議案 令和3年度（2021年度）町田市一般会計補正予算（第4号）

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和2年度（2020年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

##### （歳出）

##### 総務費

- （1）指定管理者等が労働環境について気軽に相談等ができるよう、労務関係の専門家との意見交換の場を設けることや、聞き取りの際に同行していただく等の取組を進められたい。
- （2）指定管理者等に対し労務管理の専門家が直接審査する「労働環境モニタリング等の労働条件審査」の導入を検討されたい。
- （3）人材育成事業について、研修報告書の実務に生かせる内容については、積極的に共有されたい。
- （4）公の立場として民間の手本となるよう、時間外労働について、月45時間、年360時間までの原則を守られたい。

- (5) 職員の健康が損なわれることのないよう、長時間労働を慢性化させない人員配置体制の強化を図られたい。
- (6) 市内事業者への発注に関しては、引き続き他部署への働きかけを行い、市内事業者の受注率向上をされたい。
- (7) 産業振興基本条例の改正後の市内事業者受注率などの変化や庁内の取組などを、市内事業者団体に情報提供されたい。
- (8) 発注見通しの早期公表等、市内事業者からも要請の多い公共工事の発注・施行時期の平準化に向けた取組を推進されたい。
- (9) 工事請負契約の一定業種について、くじによる受注者決定が多い。市内事業者の意欲発揚、活性化のため、最低制限価格の在り方を含め検討されたい。
- (10) 一者応札にならないよう努めつつ、市内事業者への発注が増えるよう図られたい。
- (11) 工事及び工事関連業務委託において、工期や工事時間を見直す等も含め熱中症対策が反映されるよう積極的に調査検討をされたい。
- (12) 広報まちだについては、今まで以上にスマホ・タブレットでの閲覧ができることの周知徹底をされたい。
- (13) 若年層の市政への関心を高めるため、ツイッター・インスタグラムをはじめとするSNSのさらなる活用に取り組みられたい。
- (14) 市民相談については、オンラインでの相談ができるよう環境整備をされたい。
- (15) 電話対応業務については、引き続き、完結率の向上を目指し、特に保健所への問合せを少なくされたい。
- (16) ガバメントクラウドファンディングについては、市のPRとしても効果的な手法であることから、積極的な活用を図るとともに広報とも連携しその情報の展開方法も検討願いたい。
- (17) コロナ禍での厳しい財政状況においても、財政指標を注視しながら適切な予算編成に取り組みられたい。
- (18) 公共施設再編、複合化については、老朽化した高齢者・医療などの公共的施設の建て替え需要への対応も視野にいれ、調査、検討をされたい。
- (19) “e-まち” 実現プロジェクトの推進に際しては、コロナ禍を鑑み、非接触・非対面・来庁しなくても完結できる仕組み作りに取り組みられたい。
- (20) クレジットカード、スマホ決済、口座振替などキャッシュレスによる市税納付の利便性向上に努められたい。
- (21) コロナ禍による厳しい経済状況において、納税が困難な方に対する徴収猶予制度の周知等、丁寧な対応を求める。その上で、収納率の向上及び不納欠損額の減少に資する施策を丁寧に進められたい。
- (22) コロナの影響により納付困難な市民への徴収猶予制度の周知徹底を図るとともに、過年度分の滞納処分には当たっては、滞納状況の丁寧な聴取に努め、生活再建を基本とした分納相談などを講じられたい。

- (23) 労働関連セミナーの開催については、オンラインをより一層活用するなど利用者の機会損失にならないよう努められたい。

#### 農林費

- (24) 市街化調整区域内の農地については、長年の耕作放棄により自然潰廃した土地が多く見られる。周辺の良い耕作地等を保全するためにも、土地所有者の意向によっては、農地法4条・5条許可や非農地証明の活用をされたい。
- (25) 特定生産緑地制度について、農地所有者が最も適切な選択肢を得られるよう引き続き丁寧に情報提供及び相談事業を続けられたい。
- (26) 里山環境保全活用促進事業においては、地域活性化や来訪者との交流の視点からも、起爆剤となりうる小野路宿里山交流館に続く2つ目の新たな交流・回遊拠点の早期開設を求めたい。
- (27) ふるさと農具館・七国山ファーマーズセンターについては、コロナ禍においても集客できる仕組みづくりに取り組まれたい。

#### 商工費

- (28) 創業支援については、民間事業者・シェアオフィス事業者のみならず近隣大学含め産官学連携をさらに積極的に進められたい。
- (29) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者の現状や課題をより正確に把握すべく、市内事業者の実態調査を積極的に行われたい。
- (30) 町田市事業者承継推進ネットワークの取組について、事業のさらなる充実に向け、課題を共有する土業をはじめとした様々な民間機関との連携についても検討願いたい。
- (31) 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業支援に際しては、不公平のない仕組みづくりに取り組まれたい。
- (32) 七国山周辺地区の景観は四季彩の杜全体の魅力、ブランド力向上にとって大きな影響を与えるものと考えられる。景観維持の視点からも来訪者の実態調査を検討願いたい。
- (33) コロナ禍においても比較的安心して訪れることのできる薬師池公園四季彩の杜をはじめとする公園施設等については、市民・生活圏者、観光入込客数のそれぞれの数を意識した取組に強化されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

### 1 一般会計

#### (歳出)

##### 総務費

- (34) 電子・デジタル化を強化し、紙を利用しない環境の整備を行い、さらなる紙削減を進められたい。

- (35) 指名競争入札については、業界ごとの落札率を比較し、業界団体からヒアリングを行うなど、現場の率直な声を聞きつつ、よりよい制度の確立を目指されたい。
- (36) デジタル化、A I の活用、R P A の推進などにより、さらなる業務の効率化を図られたい。
- (37) 行政経営改革プランについては、適切な目標を設定し達成できるよう取り組まれたい。

令和3年（2021年）9月15日

総務常任委員長 ちだ伸也

議長 熊沢あやり様

## 健康福祉常任委員会議案審査報告書

1. 第 64 号議案 令和3年度（2021年度）町田市一般会計補正予算（第4号）
1. 第 65 号議案 令和3年度（2021年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）
1. 第 66 号議案 令和3年度（2021年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第2号）
1. 第 67 号議案 令和3年度（2021年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和2年度（2020年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

（歳出）

民生費

- （1）成年後見人が日常的に被後見人をサポートしている場合、その内容が民生委員と重複するケースがある。成年後見人と民生委員が連携できる方法を検討されたい。
- （2）成年後見制度利用者数の需要が年々高まっている。支援体制を強化するとともに、需要に合わせて、さらなる予算確保に努められたい。
- （3）コロナ禍のため、当初予定になかったオンラインや動画配信を実施したとのことだが、受講生同士のコミュニケーションにより一層留意して、今後の市民後見人育成研修にあたられたい。
- （4）成年後見制度の利用促進にあっては、成年後見制度利用促進法の趣旨を十分に理解し、成年後見制度利用促進基本計画を策定し、実現に向けて具体的方策を講じられたい。

- (5) 木曽福祉サービスセンターは、老朽化により緊急修繕の発生が想定されるとのことだが、その際には速やかな対応をされたい。
- (6) 町田市葬祭事業については、事業の在り方が変わったとしても、事業の理念をしっかりと理解し、これまで協力していただいている組合、市内の葬祭事業所などからよりヒアリングするなど調査をし、利用する市民の安心を継続されたい。
- (7) 町田市葬祭事業について、新型コロナウイルス感染で亡くなられた方の対応等は、公の事業の責務としてしっかりとされたい。
- (8) 福祉輸送サービス事業について、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う外出自粛要請等により、車両稼働率は減少しているものの、潜在的ニーズは高いと考えられる。さらなる運転手の確保と老朽化している車両の更新を検討されたい。
- (9) 特別定額給付金支給事業において、町田市では支給のための審査が手探りになったとのことだが、今後、同様の事業が実施される際には、市民に速やかに支給されるよう、努められたい。
- (10) 地区別懇談会について、多世代かつ多様性を重視し、今までとは異なるアプローチ方法を検討するとともに、感染症流行時においても活動できる方法を検討されたい。
- (11) 福祉施設の質の担保のために無通告の立入調査の実施を検討されたい。
- (12) 教育・保育施設などにおける事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインの内容が確実に守られるよう、指導監査の際には提供を避けるべき食品などが提供されていないか等、口頭にて確実に確認されたい。
- (13) 人員の増員等、必要な措置を講じ、指導監査を法令等で定められている頻度で行われたい。
- (14) 実地指導の際には、障がい福祉課、子ども発達支援課、子育て推進課、保育・幼稚園課等、関連する課の職員が共に立ち会う件数を増やすよう努められたい。
- (15) リス園での飼養動物においては昨今の猛暑も十分に考慮した動物福祉の充実に努められたい。
- (16) 大賀藕絲館事業において、施設全体が老朽化しており、障がいがある方が利用する施設であるため、安全性を担保する観点からも、トイレの改修をはじめ、過年度からの課題を今年度の大規模改修に反映されたい。
- (17) 障がい者虐待相談件数において、実際の発生件数との大きな乖離が推測される。相談窓口のさらなる周知を図られたい。
- (18) 利用者向け送迎バスについては、車内への閉じ込めによる事故が起こらぬよう、送迎終了時の車内確認を実施されたい。
- (19) 障害福祉サービスを提供する施設において、送迎バスの運行をしている施設に対しては、送迎バスの安全についてのマニュアルの整備、閉じ込めによる事故の発生防止策に努めるよう周知されたい。
- (20) 障がい者向けの日常生活用具給付事業については、タブレット端末の購入も対象とされたい。
- (21) 就労継続支援A型、B型事業所への経営的支援の充実に努められたい。

- (22) ひかり療育園の民間への引継ぎの際には、これまで果たしてきた役割を継承し、さらに発展できるよう必要な支援を行われたい。
- (23) 介護人材バンクによる就労人数は、目標人数を達成しているが、オンラインでの就労相談に応じられない方も視野に入れて、事業を進められたい。
- (24) 高齢者あんしんキーホルダーにおいて、緊急連絡先のない希望者については公的サービス等も緊急連絡先として指定できるよう検討されたい。
- (25) 高齢者あんしんキーホルダーについて、地域のコミュニティに参加をしていない方などにも周知できるよう新たなアプローチを検討されたい。
- (26) 高齢者緊急通報システムについて、既存システムの拡充に加え、スマートフォンを活用する等、新たな見守りシステムの運用も検討されたい。
- (27) ふれあい館について、今後の在り方を検討する際、多世代との交流も含め、地域の高齢者の社会参加の場となるような仕組みを検討されたい。
- (28) 高齢者施設の I C T 化に対する支援を強化されたい。
- (29) 高齢者が健康で生きがいを持って生活するための交流の場の提供にあっては、地域で活動する団体等への支援を通して広げる方策を検討されたい。
- (30) シルバーピアの協力員業務委託について、既存の生活協力員の住居は市の責任で確保されたい。
- (31) シルバーピアでは、多くの施設で8月以降ガスの契約を解除したが、今後も活動の萎縮を招かない範囲で光熱水費は機動的に対応されたい。
- (32) 高齢者指定収集袋減免事業においては、ニーズに応じて5リットルの袋も配付するよう求める。
- (33) 生活保護受給世帯における小中入学時や転校時には入学準備金が出るが、市立中学校入学時には標準服や体操着など指定品を購入すると補助額では足りない学校がある。学校教育部とも連携し、支給額の範囲内で収まるよう方策を検討されたい。
- (34) 必要な人が必要な時に利用できるように生活保護制度について広く周知することを求める。
- (35) 生活困窮者（特に女性）に対して、相談体制、支援の充実をより図られたい。
- (36) 生活困窮者への子どもの学習支援事業にあっては、オンライン学習の支援、特に通信費の補助に対しては、生活援護の方からも検討されたい。

#### 衛生費

- (37) 新型コロナウイルス感染対応にあたる職員の健康、メンタルのケアに留意されたい。
- (38) 新型コロナウイルス感染自宅療養者への対応も含めて、在宅・訪問医療・看護の充実のための支援をより一層強化されたい。
- (39) 健康福社会館の老朽化した歯科診療設備について、早急に更新することを検討されたい。
- (40) 生活保護等受給者向け成人健診受診率が低下している。伝える方法を工夫するなど、受診率向上策を検討されたい。

- (41) がん検診について、今後さらなる受診率の向上が求められる。成果連動型民間委託契約方式を検討されたい。
- (42) 自殺対策推進協議会については、小中学校の校長それぞれ1名ずつが委員となっているが、万が一欠席となる場合には、代理で別の校長が必ず出席するよう努められたい。
- (43) 自殺予防、コロナ禍で特に増えている女性、子どもへの対策については、全庁的に連携して、より一層取り組まれたい。
- (44) 乳幼児健診や歯科健診などの集団健診については、感染への不安がある親子や、障がい者、多胎児など様々な理由で集団健診の実施場所に行くのが難しい親子に対しては、近隣の医療機関での健診費用を市で負担されたい。
- (45) 乳幼児健診、歯科健診の集団健診については、以前から課題とされている南地区での実施について早急に実現できるよう、一層検討を進められたい。
- (46) 出産・子育てしっかりサポート事業で配付するタクシーチケットにおいては、利用者の利便性向上等のためにも、他自治体の取組を参考にしてタクシーチケット以外の形での配付を検討されたい。
- (47) 産後ケアについては、第二子以降であっても利用しやすいよう、兄弟姉妹の預け先についての対応を進められたい。特に、市民病院においては保育室を有していることから、連携ができないか検討されたい。
- (48) 町田市独自の不妊・不育症支援の在り方を検討されたい。
- (49) 狂犬病予防注射については、案内業務の主体がどこであっても以前の接種率を維持できるように努められたい。
- (50) 犬及び猫へのマイクロチップ装着にかかる費用の一部を補助する制度を開始したが、せつかくの制度なので、より一層の周知を徹底されたい。

## 2 特別会計

### 国民健康保険事業会計

- (51) インセンティブ交付金の交付状況は都内第3位と上位であることがわかったが、引き続き被保険者に資するよう努められたい。
- (52) 糖尿病性腎症重症化予防事業について、対象人数の拡大を検討されたい。
- (53) データヘルス計画に基づき実施した施策について、分析結果も記載されたい。
- (54) データヘルス計画の見直しにおいては、エビデンス、レセプトデータの分析はP D C Aサイクルの重要な根幹となる。分析にあっては、その体制を強化されたい。

### 介護保険事業会計

- (55) 介護サービスは年々増加することから、タブレット等を活用して、事務負担の効率化、より効果的なデータ連携ができるよう検討されたい。
- (56) 在宅で療養する高齢者の生活を支えるため、医療と介護の連携支援センターの専門スタッフの拡充など体制を強化し、エビデンスや医療、介護情報の共有化など具体的に仕組みづくり等により取り組まれたい。



- (57) 認知症施策や介護予防・フレイル予防の推進においては、効果があるとされる社会交流、社会参画の場を地域のボランティア、NPO団体などとの活動と連携、支援をし、より広げられたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

(歳出)

民生費

- (58) 生活援護について、就労支援を成果指標に加えたことは評価する。就労に関わらず、継続的な支援体制を整備するとともに、不正受給の取締りを強化されたい。

衛生費

- (59) 保健所の業務は各々市民の命や健康を守る上で欠かせないものであり、今回の感染症で不足が明らかになった職員についての補充や緊急の際の迅速な会計年度任用職員の採用を行われたい。
- (60) タクシーチケット購入元のタクシー事業者に対して、チャイルドシートが利用できるサービスの実施を求められたい。
- (61) 父親も母親と同じ「親」であることから、妊婦面接については、母親だけでなく父親にも行うよう、検討されたい。

## 1. 認定第 3 号 令和2年度（2020年度）町田市病院事業会計決算認定について

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

- (1) 院外のPCR検査のスクリーニング実施を検討されたい。
- (2) 2019年度に比して、2020年度は医業外収益は増加しているものの、医業収益は減少している。特に入院収益の減少額が著しい。入院したくても入院できない患者さんが出ないように、引き続き、二次救急医療機関としての充実に努められたい。
- (3) 2024年度から導入される「医師の働き方改革」を速やかに実施できるように、今後も万全な準備に取り組まれたい。

- (4) 新型コロナウイルス感染防止対策としても、キャッシュレス決済、自動精算機の充実、待合室の混雑緩和対策としてオンコールシステムを導入するなど、早急に改善されたい。
- (5) 保育室については、第三者評価を受審されたい。
- (6) 保育室については、市民病院利用者への保育サービスの提供について検討されたい。

令和3年（2021年）9月15日

健康福祉常任委員長 松 葉 ひろみ

議長 熊 沢 あやり 様

健康福祉常任委員会継続審査申出書

本委員会は、会議規則第111条の規定により下記のとおり閉会中もなお継続審査を要するものと決定しましたので申し出ます。

記

1. 第72号議案 町田市葬具使用条例を廃止する条例

理由 なお調査を要するため。

1. 請願第11号 町田市の葬祭事業の継続を求める請願

理由 なお調査を要するものと認めるため。

令和3年（2021年）9月15日

健康福祉常任委員長 松 葉 ひろみ

議長 熊 沢 あやり 様



## 文教社会常任委員会議案審査報告書

1. 第 75 号議案 町田第二中学校防音機能復旧工事（空気調和設備）請負契約
1. 第 76 号議案 健康増進温浴施設整備工事請負契約の変更契約
1. 第 77 号議案 健康増進温浴施設整備給排水衛生設備工事請負契約の変更契約
1. 第 83 号議案 町田市民ホール・町田市鶴川緑の交流館ホール等・町田市立鶴川駅前図書館（図書館運営業務を除く。）の指定管理者の指定について
1. 第 84 号議案 町田市フォトサロンの指定管理者の指定について
1. 第 85 号議案 町田市立室内プールの指定管理者の指定について
1. 第 86 号議案 木曽子どもクラブの指定管理者の指定について
1. 第 88 号議案 町田市立鶴川駅前図書館（図書館運営業務に限る。）の指定管理者の指定について
1. 第 64 号議案 令和3年度（2021年度）町田市一般会計補正予算（第4号）

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和2年度（2020年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

（歳出）

総務費

- （1）集会施設の老朽化が進む中で、集会施設整備事業補助金の予算確保が重要となる。今後も老朽化への対応ができるように予算確保に取り組まれない。
- （2）コミュニティセンター、市民センターの稼働率の低い夜間等、無料で学習できる環境づくりを検討されたい。

- (3) コミュニティセンター、市民センターの会議室での Wi-Fi 環境整備を市民サービスと位置付け、さらに積極的に推進されたい。
- (4) L G B T 電話相談の周知拡大に努められたい。
- (5) 男女平等推進事業の次期推進計画策定に当たっては、既計画期間中に新たに取上げた行政課題・価値観を包含した名称へ変更されたい。
- (6) 体感治安の向上を図るべく、防犯意識の高い地域と認識されるために支援制度の活用にとまらずレベルアップを検討されたい。その一つとして、特殊詐欺被害防止としての自動通話録音機の設置促進補助金交付事業を利用されたい。
- (7) 「さわやか窓口」の取組について、職場全体に広げるよう努められたい。

### 民生費

- (8) 新型コロナウイルスの子育て世帯に対する影響を考慮して様々な意見を踏まえて今後も子育て世帯への支援策を講じられたい。
- (9) 児童福祉について、申請が不要なものさらなる拡充、申請手続きを要しているものさらなるオンライン申請化を進められたい。
- (10) 待機児童数の地域格差を補正するため、地区ごとの待機児童数の推移を考慮しながら、待機児童数の解消の対策を講じられたい。また、認可保育園の増設や送迎保育ステーション機能など、町田市で行っている事業などを最大限活用しながら効率的・効果的に地区の待機児童対策を講じられたい。
- (11) 保育園・幼稚園の防災対策について、子育て世帯の一時避難場所として保育園・幼稚園施設を指定することについて、他部署との連携をしながら積極的に検討されたい。
- (12) 子ども発達センターでの相談事業について、より相談しやすく、より相談者に寄り添ったサポートに努められたい。
- (13) 保育士確保については、保育士試験会場でのチラシ配布等、積極的な活動を行われたい。
- (14) 保育士の確保、賃金等の待遇改善に取り組まれたい。
- (15) まこちゃん教室については、利用希望者が一人でも多く利用できるよう、今後も事業の拡充に努められたい。
- (16) 町田市子どもショートステイ事業の料金について、他自治体より高いとの声があるので、調査・検討されたい。
- (17) 子どもセンターの利用者数については、乳児（0才児）の利用者数も把握されたい。
- (18) 子どもセンターばあんは改修工事が終了したが、一部改修が不十分と思われる床面があるため、今後対応を検討されたい。
- (19) 学童保育クラブ指導員の賃金等の待遇改善に努力されたい。
- (20) 高学年児童受入開始を受け、さらなる質的・量的な向上を進められたい。

## 消防費

- (21) 新型コロナウイルスの影響により自主防災訓練の開催状況を踏まえ、地域ごとに防災意識格差が起きる可能性がある。各地域と連携し防災意識を維持できるよう、努められたい。
- (22) 個別避難計画を実効性の高い計画としていく上で、防災安全部主導で各部との調整等、積極的に推進されたい。
- (23) ハザードマップの危険地域の住民に対する説明会や懇談会を行われたい。
- (24) 防災行政無線の放送内容の確認手段について、デジタルデバインド対策を含めて活用件数を増やし浸透するよう、周知も含めて努められたい。
- (25) 防災行政無線の放送内容確認のフリーダイヤルについて、その存在を広く周知し徹底されたい。
- (26) 避難施設内のプライベート確保が保たれるよう、今後も必要な機具類の確保を進められたい。
- (27) 消防器具置き場の建て替えを、具体的・計画的に進められたい。
- (28) 消防団について、団員報酬の支払い形態が変わったが、それを受け各部の運営にかかる負担も増加していくと考えられる。それを解決するために防災部の事務局機能の強化と他の分団・部のノウハウの共有を図られたい。

## 教育費

- (29) スクールロイヤールについて、今後も教職員の負担軽減のため、必要に応じて体制強化を行われたい。
- (30) 熱中症対策として有効な校庭用水撒き機（スプリンクラー）を各校に配備されたい。
- (31) 市民が自宅で保管されている古文書などの文化財資料について、今後世代交代が進む中でより積極的に文化財資料の受入れに努められたい。また、資料受入れの基準についても早急に設けられたい。
- (32) 町田市史について、町田市では長年市史を再編纂されていない。早急に町田市史の再編纂への計画を検討されたい。
- (33) デジタルミュージアムについて、より効果的な活用を検討されたい。
- (34) 地域スポーツクラブにおいて、スポーツ施設との連携をさらに強化されたい。
- (35) 大規模スポーツ広場のさらなる拡充と施設整備を推進されたい。
- (36) まちだサポーターズの新規入会を促すとともにさらなる活動の充実化を図られたい。
- (37) 東京2020オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ2019でキャンプ地招致をした関係各国との交流を図られたい。
- (38) (仮称)国際工芸美術館整備事業について、地域住民及び関係諸団体との協議を行い、より柔軟に対応されたい。
- (39) 就学援助費について、社会状況に応じて支援項目の追加も含めて強化し、教育格差が広がらないように努められたい。
- (40) 通学路の安全対策について、他部署との連携を強化し、通学路の危険個所への迅速な安全対策を行えるように努められたい。

- (41) 各小学校の厨房について、調理員が快適に業務に当たれるように早期の空調整備に取り組まれない。
- (42) 小学校給食について、地場産物割合の指標・数値化の導入と、それに対する地元農家・業者の声を聞かれない。
- (43) 中学校給食において、さらに改善・工夫を重ねて、喫食率の向上に努められない。
- (44) 中学校全員給食実施に当たっては、地場農産物の活用を積極的に行われたい。
- (45) コロナ禍における公民館事業の拡充を検討されたい。
- (46) コミュニティ・スクールの仕組みの周知を徹底し、地域と一体となった学校運営を行われたい。
- (47) 新型コロナウイルスなど様々な社会状況に伴い心理的な影響による不登校などの児童に対し、より学校復帰がかなうように体制強化を図られたい。
- (48) スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーについて、今後も相談件数や社会状況によって柔軟に体制の充実を図られたい。
- (49) タブレット端末の活用ステップで、学校間格差、自治体間格差につながらない推進策や取組を、学校教育部主導で推進されたい。
- (50) 特別支援教育支援員の人員配置をさらに充実されたい。
- (51) 適応指導教室の復帰率を高める取組の研究、検討に継続努力されたい。
- (52) 図書購入費を増額されたい。
- (53) 国際版画美術館の魅力や企画のPRをさらに工夫し、拡充されたい。



次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

(歳出)

教育費

- (54) 学校用務運営事業について、直営業務と委託業務の役割分担の最適化を図るため、用務業務サービスの評価指標の細分化・客観化を図られたい。
- (55) 市民ホール事業について、(仮称)文化芸術ホール整備計画と共に将来の在り方について十分に協議を進められたい。
- (56) 図書館アクションプランを進めるにあたり、公共施設再編の財政的視点だけではなく、移動図書館や学校図書館の充実など、地域住民が図書館の魅力を身近に感じてもらえるような図書館政策を積極的に進められたい。
- (57) 大地沢青少年センターのさらなる民間活力導入に備え、それにふさわしい名称変更も検討に加えられたい。

令和3年(2021年)9月21日

文教社会常任委員長 おぜき 重太郎

議長 熊 沢 あやり 様

文教社会常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 9 号 町田市教育委員会の「町田市新たな学校づくり推進計画」について見直しを求める請願

請願者 町田市本町田 2973-38  
田 中 祥 善 外3人

本委員会は、9月7日付託された上記請願審査の結果、「不採択すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 請願第 10 号 町田の市立学校をなくさないで！すべての小・中学校の存続を求める請願

請願者 町田市本町田 918  
町田の教育をすすめる市民の会  
代表 大 和 繁 外3, 988人

本委員会は、9月7日付託された上記請願審査の結果、「不採択すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

令和3年（2021年）9月21日

文教社会常任委員長 おぜき 重太郎

議長 熊 沢 あやり 様

## 建設常任委員会議案審査報告書

1. 第 73 号議案 町田市バイオエネルギーセンター会議室等条例
1. 第 81 号議案 市道路線の認定について
1. 第 82 号議案 市道路線の廃止について
1. 第 64 号議案 令和3年度（2021年度）町田市一般会計補正予算（第4号）
1. 第 68 号議案 令和3年度（2021年度）町田市鶴川駅南土地地区画整理事業会計補正予算（第1号）
1. 第 69 号議案 令和3年度（2021年度）町田市下水道事業会計補正予算（第1号）

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和2年度（2020年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

（歳出）

衛生費

- （1）ふれあい収集については、関係機関と連携し、事業継続に努められたい。

土木費

- （2）道路総務費の人件費について、コロナ禍でのテレワークやIoT技術等の活用等への対応が、職員のモチベーションや生産性の向上や危機管理に結びつけられる。これを良い機会としてICT、IoT等のさらなる活用を図られたい。
- （3）利用者数の拡大、主権者意識醸成のため「まちピカ町田くん」の広報チラシを市内高校で配布されたい。
- （4）カーブミラー設置の予算を十分に確保し、市民からの設置要望に丁寧に相談に乗り、

対応されたい。

- (5) シェアサイクルの需要増に併せ、さらに利用台数とサイクルポートを増やされたい。
- (6) 道路維持、修繕については、計画的に今後数年で要望を限りなくゼロに減らすよう努力されたい。
- (7) 道路施設の維持管理にあたり使用されるグリホサートを主成分とする除草剤について、環境に負荷の少ない、代替薬剤の使用を研究されたい。
- (8) 道路上公共トイレの全トイレ機械警備（警備サービス直結緊急通報ボタン）の設置にとどまらず、さらなる公共トイレの防犯・衛生の向上に取り組まれたい。
- (9) アフターコロナを見据え、モノレール、他の公共交通も含め、様々な可能性について検討されたい。
- (10) 都市の農地が存続できるように取組をさらに進められたい。
- (11) コミュニティバスの運行継続とともに交通空白地区解消及びEーバスに代表されるような地域公共交通の導入検討を積極的に進められたい。
- (12) 2020年度は設置できなかったバス停のベンチや上屋について、市の補助を増やすなどして、設置を支援されたい。
- (13) 道路・街路築造事業について、保有する普通財産・未使用地11筆の土地売りをさらに進められたい。
- (14) 公園の整備に当たっては、ばら広場の事例を参考に、より景観に配慮した整備に努められたい。
- (15) 四季彩の杜全体に案内板が少ない。事故防止の上からも早急の整備を図られたい。
- (16) 公園の整備に当たっては、少しでも子どもが水遊びできるような環境を整えられたい。
- (17) 鶴間公園テニスコートの遮音対策について、引き続き住民の声を聞き、対応されたい。
- (18) 市営住宅の新規申込者と同様に、現入居者においても、希望があれば保証人を緊急連絡先に変更できるようにされたい。
- (19) ブロック塀等撤去事業助成が進むよう、より一層の啓発に努められたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

(歳出)

衛生費

- (20) 新型コロナウイルス感染症による外出自粛等で家庭での不燃ごみ、ペットボトルごみ量が増加しているが、不燃ごみ、ペットボトルごみ収集は月2度しかない。不燃ごみ、ペットボトルごみ収集回数増を検討されたい。

土木費

- (21) LED街路灯について、賃貸借契約に分電盤は含まれていない。今後の経年劣化に対応するため、しかるべく更新方法を研究されたい。
- (22) 四季彩の杜内のラボ・体験工房等の集客が遅れている。周辺施設に併せ集客を図られたい。
- (23) 野津田公園事業のテニスコート整備については、コロナ禍による財源不足及び官民の役割分担を念頭に周辺・同規模の民間施設等の情報を調査の上、効率的な事業執行に当たられたい。
- (24) 町田市第二次野津田公園整備基本計画にテニスコート整備ほか、複数ある施設整備の順序については、整備規模等条件が満たされた施設から行うよう柔軟に対応されたい。
- (25) 市営住宅の入居者の対象を同性カップルに拡充することを検討されたい。

## 1. 認定第 2 号 令和2年度（2020年度）町田市下水道事業会計決算認定について

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

- (1) 国土交通省の実証事業であるB-DASHプロジェクトの成果が上がっている。効率的で健全な下水道事業経営が求められるため、さらに先進的技術の研究・活用を図られたい。
- (2) 下水処理の過程で、河川への流出が一定程度認められるマイクロファイバー（プラスチック）の除去について、国の動向を踏まえ、除去する対策を研究されたい。
- (3) 消毒設備（次亜塩素タンク棟・塩素混和池）の耐震補強他工事の入札不調が続いている。施設管理上からも早い段階での入札を推進されたい。

令和3年（2021年）9月17日

建設常任委員長 渡 辺 巖太郎

議長 熊 沢 あやり 様